

平成28年第1回定例会一般質問

平成28年第1回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 3月1日(火)、2日(水)、3日(木)、4日(金) いずれも午前10時
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

問合先 議会事務局(電話042-387-9947)

発言順	議員名	質問日(予定)
1	中山 克己	平成28年3月1日(火)
2	吹春 やすたか	
3	露 口 哲 治	
4	関 根 優 司	
5	宮 下 誠	
6	岸 田 正 義	
7	小 林 正 樹	平成28年3月2日(水)
8	水 上 洋 志	
9	渡 辺 ふき子	
10	鈴 木 成 夫	
11	板 倉 真 也	
12	紀 由紀子	平成28年3月3日(木)
13	遠 藤 百合子	
14	林 倫 子	
15	百 瀬 和 浩	
16	中 根 三 枝	
17	湯 沢 綾 子	
18	田 頭 祐 子	平成28年3月4日(金)
19	坂 井 えつ子	
20	片 山 薫	
21	斎 藤 康 夫	
22	森 戸 洋 子	
23	渡 辺 大 三	

一般質問の通告について

発言順

2

平成28年 2月15日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 吹春やすたか

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 東京都施行の都市計画道路、小金井3・4・11号線について問う。	
(1) 都市計画道路の整備を防災と周辺市との協調の観点から、着実に推進していくことが必要と考えるが、見解を伺う。	
(2) 小金井市のまちづくりでの3・4・11号線の必要性について伺う。	
(3) 整備にあたっては、環境への配慮が必要と考えるが、どのように考えるか伺う。	
2 小金井市の防災に対する取り組みについて問う。	
(1) 小金井市の全職員に上級救命講習を受講させてはどうか。	
(2) 地域防災における小金井市議会議員の位置付けはできているか。	
(3) 小金井市が災害に見舞われた際「東京消防庁災害時支援ボランティア」との連携はどのようになっているか。	
(4) 東京消防庁による消防無線のデジタル化に伴い、小金井市消防団にもデジタル受令機の導入を検討してはどうか。	

- 1 記入に際しては、表題、個別の表題、質問の具体的内容等に区分して記入してください。
- 2 表題には、1、2・・・、個別の表題には、(1)、(2)・・・と区分するための番号を付けてください（番号の付設された部分をホームページに掲載します。）
- 3 質問については、なるべく具体的に記入してください。
- 4 「その他」等の記入はできません。
- 5 一般質問に際して、資料を要求する場合には、資料要求書を別途提出してください。
- 6 この通告書は、コピーして配付いたしますので、ボールペン等を使用し、鮮明な文字で、読みやすいように記入してください。

一般質問の通告について

発言順

3

平成28年 2月15日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

露口哲治

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、 都市計画道路整備について問う。	
東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）によりますと、東京都施行の多摩地域の優先整備路線として小金井市域においては、2路線が取り上げられています。小金井3-4-1号線について伺う。	
(1) 現在策定中である都市計画道路の新たな整備方針をどのように取りま とめていくのか。	
(2) 小金井3-4-1号線の必要性について。	
(3) 地下水や緑の景観など、環境への配慮について。	
2、 障がい者スポーツへの施策を問う。	
オリンピック・パラリンピックまで、あと4年です。障がいがある人もない人 もスポーツを楽しむ小金井にしたい。	
(1) 小金井市は障がい者がスポーツ施設を利用しやすくなるような促進策 を考えているのか。	
(2) 国や都からの障がい者スポーツ事業に向けて補助金はどうなってい るのか。	
第17回東京都障がい者スポーツ大会への市としての考えを伺う。	
(3) 総合体育館、栗山公園健康運動センター など体育施設の指定管理 について (障がい者スポーツ)。	
(4) 民間スポーツセンターでの、障がい者スポーツの現状は。	

一般質問の通告について

発言順

4

平 28 年 2 月 17 日
(西暦 2016年)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 関根優司

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1、住民追い出し・自然破壊の都市計画道路建設計画に反対する	
(1) 自然再生法で自然再生地域に指定されている野川と武蔵野公園のはげ浴いの豊かな自然に対する思いを西岡市長と共有したい。	
(2) 生活を破壊される住民の思いと、はげの自然を守りたい市民の思いを、市長はどう受け止めておられるのか。	
(3) 当初の都からの問い合わせに市はどう回答したか。	
(4) 大阪や京都などは都市計画道路を大幅に廃止している。都の「全部つくる」という姿勢は異常と思わないか。	
(5) 人口減社会になるといわれているのに交通量は増大するのか。	
(6) 都市計画道路建設以外にも交通渋滞緩和策はある。	
(7) 自動車交通に対する考え方には違う選択肢もある。	
(8) 「もう一度訪れたい街」小金井の最大の魅力、はげの自然を破壊する愚挙。	
(9) かつての暴れ川の「野川」の拡幅整備でも大勢の市民が立ち退いた。これはやむをえないとだれしも思う理由(野川の氾濫)があった。今回のふたつの道路新設は、大勢の市民の生活を破壊し、または大きな打撃を与えるが、納得できる必要性は無い。	
(10) 市長は明確に反対の態度をとられるべきである。	
2、西岡市長は再開発第1地区をどう総括するのか。また、第2地区と北口の再開発をどうしようとしているのか。	

一般質問の通告について

発言順

5

平成28年2月17日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

宮下誠

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、創意工夫で行革のさらなる推進を	
(1) 行革市民会議の提言を真正面から受けとめられるのか。 行革断行の本気度を確認したい。	
(2) ネーミングライツのさらなる活用や民間企業との連携を図る など、新しい取り組みに二の足を踏むことなく、積極的に挑戦 しないか。	
2、2020東京五輪を小金井発展の起爆剤に	
(1) オリンピック・パラリンピック教育の推進のなかで、在日大 使館と連携した国際交流やボランティア教育（おもてなし親善 大使の育成）を進めては。	
(2) アスリート、特に障がい者スポーツ選手を学校に招き、児童・ 生徒との交流を。	
(3) 小学校英語教科化に向け、教育課程研究開発の推進地区とし て名乗りをあげるほか、小学校教員の英語免許状取得を推奨す るなど、推進環境を整備しては。	
(4) 地域の魅力のひとつに「茶の湯」文化を位置づけ、東京大茶 会と市内の催しを連動させて盛り上げたり、観光ツアーに組み 込ませるなど工夫して、外国人を含めた交流人口を増やしてい っては。	

一般質問の通告について

発言順

7

平成28年02月17日
(西暦2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 1) 林正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 市長の掲げるグランドデザインについて問う</p> <ul style="list-style-type: none">・スケジュール・検討範囲について・図書館のあり方の検討について・福祉会館建設の緊急性について・第二庁舎の買い取りの是非について・武蔵小金井北口のまちづくりについて・ココバスのルート再編について・学区域の見直し検討について <p>2. 学校教育現場でICT化の促進を</p> <ul style="list-style-type: none">・ICT教育の現状と更なる活用について問う・タブレットの導入を行わないか <p>3. 献血の推進で支え合いのまちづくりを</p> <ul style="list-style-type: none">・市としての目標設定を行わないか・出前講座や市主催イベントでの啓発活動の実施をしないか	

一般質問の通告について

発言順

9

平成28年2月17日
(西暦)

(あて先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 渡辺了子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、人と動物が共生するまち小金井を</p> <ul style="list-style-type: none">① 飼い主のいない猫対策について<ul style="list-style-type: none">・窓口の明確化など市の取り組みは進んでいるか・避妊・去勢手術に対し補助金を導入しないか・市民ボランティアの活動に対して支援しないか② 災害時におけるペットの救護体制について<ul style="list-style-type: none">・地域防災計画におけるペットの救護体制は・ペット同行避難訓練について <p>2、食育推進基本条例を活かした施策は進んでいるか</p> <ul style="list-style-type: none">・食育コーディネーターの活動状況は・市内の小学校で「子どもが自分で作るお弁当の日」を実施し、食に感謝する心、自立して生きる力を養うべき <p>3、東京農工大学、亜細亜大学との相互協定を活かして、施設の相互利用を可能にし、市民と学生との交流を図る仕組みをつくらないか</p> <p>4、就学前児童に対する教育・保育の充実について</p> <ul style="list-style-type: none">① 私立幼稚園と私立保育園の格差是正は進んでいるか<ul style="list-style-type: none">・延長保育への補助金の拡充など今後の具体的な計画は② 認定こども園の設置計画について問う	

一般質問の通告について

発言順

11

平成 年 2 月 17 日
(西暦 2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 市内中小事業者の支援策拡充を	
(1) 公契約条例の制定を	
① 公契約のあり方検討委員会など、市内での協議の到達状況を問う	
② 条例提案にいたらない理由は何か	
③ 条例制定に向けたスケジュール、考え方を問う	
④ 西岡市長の公契約条例制定に対する見解を問う	
(2) 住宅リフォーム助成制度を早期に確立せよ	
① 住宅マスタープランで明示した実施時期の前倒しを	
② 西岡市長の住宅リフォーム助成制度に対する見解を問う	
(3) 中小企業振興基本条例の制定を	
① 今年度末に策定が予定されている産業振興プランにおいて、小規模企業振興基本法の考え方はどのように反映されているのか	
② 条例制定を視野に、市内に検討委員会の設置を	
③ 西岡市長の中小企業振興基本条例制定に対する見解を問う	

一般質問の通告について

発言順

12

平成28年、2月17日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、子育て支援の更なる推進について</p> <p>(1) 東京都の「出産・子育て応援事業」を活用し、妊娠期から出産、子育てにわたる切れ目のない支援を提供するため、育児パッケージの配布を行わないか</p> <p>(2) 東京都の「出産・子育て応援事業」を活用して、わこう版ネウボラのように、子育て支援拠点へ更なる専門家の配置を行わないか</p> <p>(3) 妊婦や子育て中の保護者が、安心して出産や子育てができるように、お腹の赤ちゃんの様子や産後のお子さんの成長・発達、子育てサービス等のタイムリーな情報をメールで届ける、子育て応援メールを行わないか</p> <p>(4) ネウボラの一環として、訪問型の支援（ホームスタート等）を行わないか</p> <p>2、地域防災の拡充のために、消防団活動の更なる推進を</p> <p>(1) 消防団員に万全な防火衣が少しずつ、支給され始めた。火災時、災害時に備え、消防団員の命を守る、より万全な防火衣の支給を急がないか</p> <p>(2) 綾部市で、女性消防団（シルキーファイヤー）は、女性の視点を活かし、火災予防の広報活動を中心に活動している。再度問う。女性消防団員を登用しないか</p> <p>(3) 消防団員募集についての広報（募集チラシ等の内容）の工夫をしないか</p> <p>3、近年、要介護状態などで図書館に来館することが、困難な人などを対象に、図書館にある書籍類を宅配で貸し出すサービスが各自治体で広がっている。すでに小金井市では、来館困難な方には、配本サービスを行っているが、市民にあまり知られていない現状である。高齢化が進んでいる中で、サービスが市民に届くように、市民サービスの周知を行わないか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

13

平成28年2月17日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

遠藤百合子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
女性消防団の創設を	
1、消防団の改選時、5分団それぞれに欠員を補充するため、新団員の確保に力を注いでいる。今までも複数回にわたり女性消防団の可否についての質疑を重ねてきている	
消防団員全体のモチベーションを上げる事にもつながる女性消防団の考え方について問う	
(1) 女性消防団の現状の考え方は	
(2) 本団付きの団員として位置付け、PR活動を中心とした広報部門を推進するなど、まずは限定した範囲での活動として、その創設を	
2、新市庁舎の建設が予定されているジャノメ跡地の土壌調査を行わないか	
(1) 土壌汚染対策法に照らして、市の考え方を問う	
(2) 戦前から工場として使用していたジャノメ跡地の土壌調査の実施を	
3、テレワーク (在宅勤務) が女性の働き続ける社会を後押しします	
(1) 企業の導入診断をしないか	
(2) 市でもテレワーク導入の実施検討を	

一般質問の通告について

発言順

14

2016年 2月17日

(平成28年)

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 林倫子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 18歳選挙を契機に、投票率の向上とシチズンシップ教育の充実を</p> <p>(1) 投票率向上のためにこれまで行ってきた施策について</p> <ul style="list-style-type: none">・啓発活動全般について・障がいを持った方が候補者の公約を理解できるような工夫はしているか・特に若い世代の投票率を上げるための分析、対策は行っているか・投票に行きにくい人が投票できるようにするための対策は <p>(2) 政府の方針を受け、市としても大学などの施設に期日前投票所を増設しないか</p> <p>(3) 投票権の18歳までの拡大を受けて、選挙管理委員会または教育委員会が行うシチズンシップ教育についての考え方を問う</p> <ul style="list-style-type: none">・小中学生への主権者教育をどのように考えるか・他自治体の取り組みなどの研究はしているか・小中学生向けの補助教材の作成を考えないか・高校、大学と連携したシチズンシップ教育を行わないか <p>2. 自殺防止のための対策強化を</p> <p>(1) 市のこれまでの対策について</p> <ul style="list-style-type: none">・全般的に行っているものは・特に若年層に向けた対策はあるか・ご遺族などへのケアはどのように行っているか <p>(2) 対策強化のための計画を策定しないか</p>	

一般質問の通告について

発言順

15

平成 28年 2月 17日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 百瀬和浩

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線について	
昨年12月東京都は市内の都市計画道路2路線について優先整備路線として選定を行った。これまでの市のまちづくりの方針と矛盾する部分が多いが、今後市の方針を変更することになるのか見解を問う。	
1) 都市計画道路の計画が策定された当時のまちづくりの状況について	
2) 都市計画道路計画決定から現在に至るまちづくり及び道路行政について	
3) 都市計画道路事業決定に向けた都の方針に対する市の対応について	
2. 新庁舎建設と公共施設再配置計画について	
新庁舎の計画は他の公共施設に先駆け、そして切り離して考えるべきものである。新庁舎建設が予定されている敷地に他の公共施設を集約することは現時点での都市計画上の制限から困難である。市長就任からはや3か月経過した。今まさに公共施設のグランドデザインのたたき台を示す時期にきているが見解を問う。	
1) 公共施設の再配置計画の骨格について	
2) 緊急の課題である庁舎、福祉会館の計画について	
3) 公共施設の再配置計画を実現するスケジュールについて	

一般質問の通告について

発言順

18

平成 28 年 2 月 17 日
(西暦 2016 年)

(宛先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭祐子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>●誰も排除せず、分け隔てない共生(インクルーシブ)社会の実現を！</p> <p>4 月から「障害者差別解消法」が施行されます。大人も子どもも、障がいの有無を問わず、住み慣れたまちで自分らしく暮らせるための施策について伺います。</p> <p>(1)福祉就労からの『自立』をめざした総社市の「障がい者千人雇用」をモデルにして、障がいを持って働けるまちづくりを進めよう</p> <p>①3障がい別の就労年齢の障がい者の人数や、就労の実態、また、働いていない方の状況やその支援について</p> <p>②ハローワークとの連携、定着支援や賃金アップ、一般就労への移行などについて</p> <p>③障がいを持った方のグループホームなど住まいへの支援について</p> <p>④障がい者と触れ合える地域づくりを進めるために</p> <p>(2)大空小学校に学び、「みんなの学校」を小金井にも作ろう！</p> <p>①「障害者差別解消法」における、学校での「合理的配慮」について</p> <p>②学校での、支援が必要な児童生徒へのサポート体制について</p> <p>③支援が必要な児童生徒や保護者の相談窓口について</p> <p>④学校が、子どもにとって安心できる居場所であるために</p>	

一般質問の通告について

発言順

19

平成 年 2月 17日
(西暦 2016)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 坂井 えつ子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 選挙をもっと身近に！投票率UPの取り組みを。</p> <p>年々、下がり続ける投票率。間接民主主義の根幹である「投票」に行かない人が多い現状を懸念している。できる取り組みから始めていかないか。</p> <p>(1) 期日前投票所の増設を</p> <p>(2) 投票率アップの取り組みを</p> <p>(3) 小金井市の選挙公報について</p>	
<p>2 都市計画道路の必要性を問う～小金井のみどりと住環境を守るまちづくりを</p> <p>小金井市に住み続けたい理由の上位に「安全・安心」「自然環境」が挙げられている。人口減少が進む中、小金井の魅力を活かした“住み続けたいまちづくり”が求められている。都市計画道路の必要性をどのように捉えているかを問う。</p> <p>(1) 小金井のみどりと住環境を守ろう</p> <p>(2) 市のまちづくりのビジョンを問う</p>	
<p>3 より開かれた小金井市ホームページのために</p> <p>2016年1月22日にリニューアルした市HPは、見やすさが向上した。より使いやすいHPを目指していかないか。</p> <p>(1) 利用者視点にたった多言語対応と「やさしい日本語」の活用を</p> <p>(2) イベントカレンダーに審議会等の予定も掲載しないか</p>	

2016年2月17日

(あて先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

片山 かい子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. さわらび学童保育所の運営委託に関する問題に市はどう向き合うのか さわらび学童保育所の運営は、民間委託から直営に戻ることになったが、先行きが不透明である。市は子どもの育つ場に責任を持って対応するべきである。</p> <p>1) さわらび学童運営委託問題の経緯について 2) 今後の運営について 3) 一連の問題について第三者機関での検証を求める</p> <p>2. 福祉会館と公民館本館はこれからどうなるのか 新福祉会館建設計画が確定しない中、現福祉会館閉鎖が迫る。福祉会館と公民館は市民活動にとって重要な施設であり、市民検討委員会を有効に活用すべきである。</p> <p>1) 福祉会館の仮移転の進捗状況。利用者の活動保障は 2) 公民館本館のこれまでの事業はどうなるのか。利用者の活動保障は 3) 公民館事業全体の今後の方向と果たすべき役割。講座アーカイブの必要性 4) 市民検討委員会で、場所の選定も含め、福祉会館と公民館のあり方について多角的な議論を早急に開始し、方向性を検討するべきではないか</p> <p>3. 生活困窮者自立相談事業の充実と庁内各部署の連携について 庁内での連携がなく、支援を必要とする人が適切な支援を得られていない。自立相談サポートセンターの事業を充実し、効果的な困窮者支援を検討すべきである。</p> <p>1) 納税課で捕捉している税金滞納者への支援はどのようなものか 2) 滋賀県野洲市のような庁内連携要綱を作り、納税課と自立相談サポートセンターが連携すべき 3) 子ども食堂への支援、フードバンクなど、自立相談サポートセンターを子どもの貧困対策の拠点としても有効活用しないか</p>	

一般質問の通告について

発言順

21

平成 28年 2月17日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 奇藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 新市長の財政再建策について問う</p> <p>ア) 市政運営の基盤となる小金井市の財政をどのように捉えているか。</p> <p>イ) 歳入・歳出それぞれについて改善すべき課題は何か。</p> <p>ウ) どのような手法によって改善させるのか。一例でも良いから具体的に示すべきである。</p> <p>2. 新市長が提唱するグランドデザインと公共施設全体のビジョンについて</p> <p>ア) グランドデザインとは何か</p> <p>イ) 6施設を複合化した建物を蛇の目跡地に建設することは公約ではないのか。マニフェストとの違いは何か。</p> <p>ウ) 新市庁舎建設のこれまでの経過 (市民検討委員会での結論・市民アンケート・パブリックコメント等) と市長の公約の乖離を理解しているのか。</p> <p>エ) スケジュール・手法・財源の内訳を早急に示すべきである。</p> <p>オ) 第二庁舎はいつまで借り続けるのか。</p> <p>3. 福祉会館閉館後、新施設が稼働するまでの機能維持について</p> <p>ア) 利用者・利用者団体の意向を聴取するスケジュールを早急に示すべきである。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 福祉作業所・浴室2. 社会福祉協議会3. 公民館4. 貸し館スペース5. その他 <p>イ) 福祉会館跡地に暫定福祉会館を建設するべきである。</p>	

一般質問の通告について

発言順

22

平成 年 2 月 17 日
(西暦 2016 年)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 森戸 洋子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 公共施設等総合管理計画の策定と市役所建設について	
(1) 公共施設等総合管理計画についてのスケジュールと今後の取り組みについて	
(2) 小中学校校舎の老朽化に伴う修繕や改修は最優先で行うべき	
(3) 蛇の目工場跡地への市役所建設とリース庁舎の早期解消について	
2. 子どもの貧困の解決に向けた取り組みを早急に	
(1) 子どもの貧困について市はどのように考え、対応するのか ～基本的な考え方について問う	
(2) プロジェクトチームの設置と保育園や学校現場をはじめとした子どもの実態把握を行い、解決策の具体策を検討しないか	
(3) 国等が示した重点施策の対応について	
3. ココバス (東町循環、中町循環) の改善について	
(1) ココバス事業についての基本的な考え方について問う	
(2) 停留所の増設など市民の改善要求にこたえるべきではないか	
(3) 運賃の値上げの検討はやめるべき	

